

平和行動 in 長崎 報告書

日時：2022年8月8日（金）～ 9日（土）

参加者：6名

8日朝6時30分、中部国際空港にて連合岐阜（6名）、連合愛知（12名）、連合三重（8名）による合同結団式を行い、代表して上見団長から挨拶をいただき、長崎へ出発しました。

1. 被爆80年 連合2025平和ナガサキ集会への参加

8日15時30分から長崎県立総合体育館メインアリーナで開催の「連合2025平和ナガサキ集会」へ参加しました。

連合長崎高藤会長の開会挨拶の後、参加者全員で黙とう、その後、連合芳野会長の挨拶、来賓の大石賢吾長崎県知事、阿波村功一長崎市原爆被爆対策本部長、海外来賓の国際労働組合総連合（ITUC）のリュック・トリアングル書記長の挨拶とイギリス労働組合会議（TUC）ポール・ノワワ書記長、国際労働組合総連合アジア太平洋地域組織（ITUC-AP）吉田昌哉書記長の紹介がありました。

集会では、（公財）長崎平和推進協会継承部会 羽田麗子氏から被爆体験談や、長崎大学核兵器廃絶研究センター長 吉田文彦氏から核軍縮をテーマにした講演を拝聴しました。また、若者からのメッセージとして、ユース代表団、高校生平和大使の活動報告や今後の抱負などを受け、平和アピールを採択しました。

最後に、9日に行われる平和行動 in 根室に向け、連合長崎から連合北海道へピースフラッグリレーが行われ、集会は終了しました。

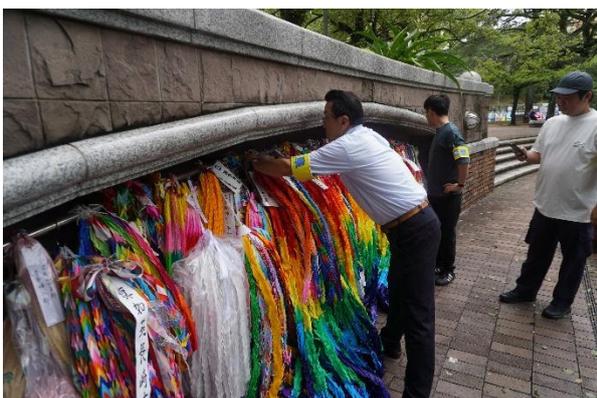


2. 被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

サテライト会場となる出島メッセ長崎で「被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参加をしました。原爆投下の11時2分に黙とうを行い、鈴木史郎長崎市長の平和宣言、被爆者 西岡洋氏が平和への誓いを読み上げ、千羽鶴の合唱をし、最後にサテライト会場に参加した人全員が献花を行いました。



なお、午後のピースウォークの前後に原爆公園で、折鶴の献納と献水を行いました。



3. ピースウォーク・長崎原爆資料館見学

午後からは「連合ピースウォーク」に参加し、連合長崎青年委員会の説明を受けながら平和公園や平和の泉、原爆落下中心地碑などを巡り、被爆の実相を学びました。

その後、一時間ほど長崎原爆資料館を見学しました。展示されている遺品や写真を通じて、原爆の恐ろしさと人々の悲しみを深く感じました。





4. 感想・コメント

初めて、この平和行動に参加をさせていただきました。

平和ナガサキ集会での長崎平和推進協会継承部会 羽田麗子氏から被爆体験談や2日目に行われた連合長崎青年委員によるピースウォークや長崎原爆資料館の展示物を観たり聴いたりして改めて「戦争は二度と繰り返してはいけない」と強く思いました。それと同時に、この当たり前のように暮らせる・働ける日常の有難さ・大切さも感じました。

長崎平和宣言の中にある「長崎を最後の被爆地に」言葉の重さを理解して、今できる小さな行動、例えば挨拶や助け合いなど身近な人との関わりや日常の小さな優しさも平和につながると思うので行動していきたいと思いました。